

第4編 全国的諸会議の運営

第2章 中央労働委員会全国連絡会議等の運営

1 中央労働委員会全国連絡会議

中央労働委員会全国連絡会議は、旧国労委（公労委）において「国営企業労働委員会全国連絡会議」として昭和34年以降毎年1回開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

平成27年の中央労働委員会全国連絡会議は、9月30日（水）労働委員会会館講堂において、中労委公労使委員、各区域の小委員長（労委規則第88条第2項の規定により選挙された者）及び各区域代表労使地方調整委員が参集して開催され、冒頭、中労委の諏訪会長から挨拶があった後、熊谷事務局長から中労委の活動状況の報告、次いで、鹿野公益委員から「民法（債権関係）の改正と労働契約」と題する講演が行われた。休憩後、石井厚生労働省政策統括官から挨拶及び「最近の労働情勢等について」と題する講演が行われた。

2 地方調整委員長等会議

地方調整委員長会議は、旧国労委（公労委）において「地方調停委員会委員長会議」として昭和32年以降毎年開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

平成27年の地方調整委員長等会議は、9月30日（水）労働委員会会館総会室において、中労委公益委員及び東日本、西日本区域の地方調整委員長及び各区域の小委員長が参集して開催され、冒頭、諏訪会長から挨拶があった。

次いで中労委事務局が「公社・国営企業等の紛争調整制度の変遷」と題する説明を行い、東日本区域及び西日本区域の地方調整委員長から関東及び近畿区域の活動状況等について報告が行われた後、意見交換が行われた。